

地理 B

1

次の図1を見て、世界の自然環境に関する下記の設問に答えよ。

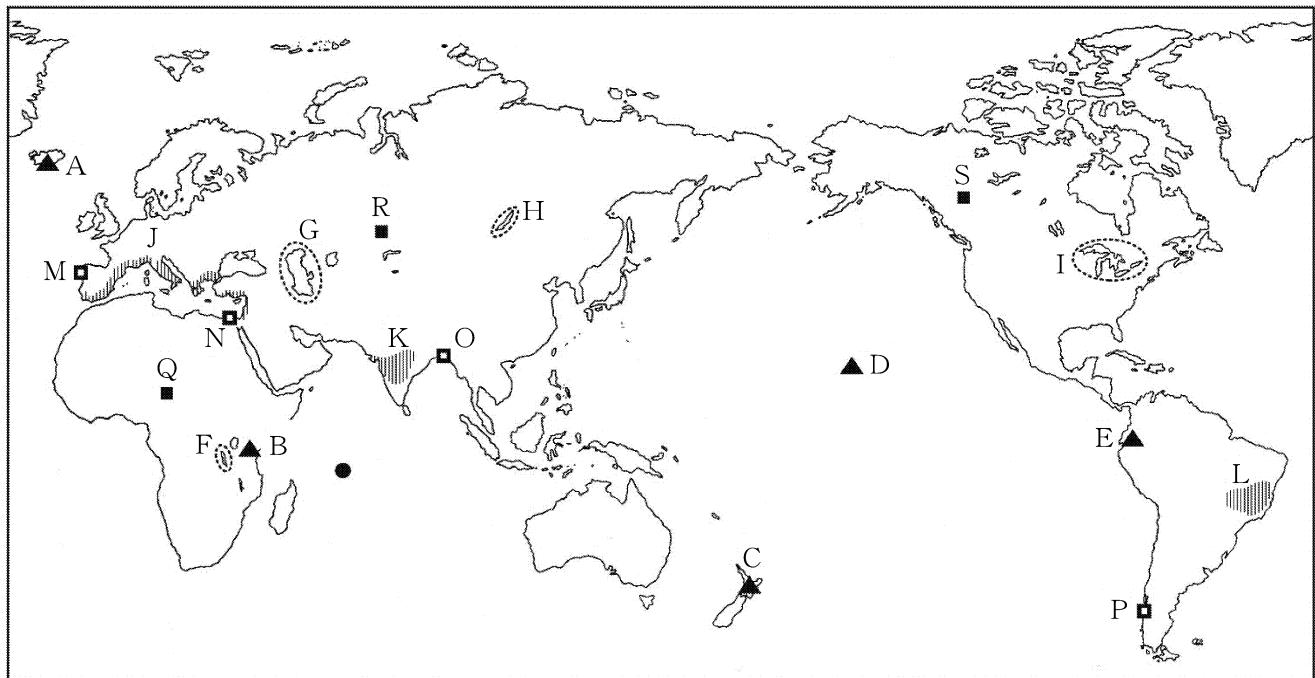


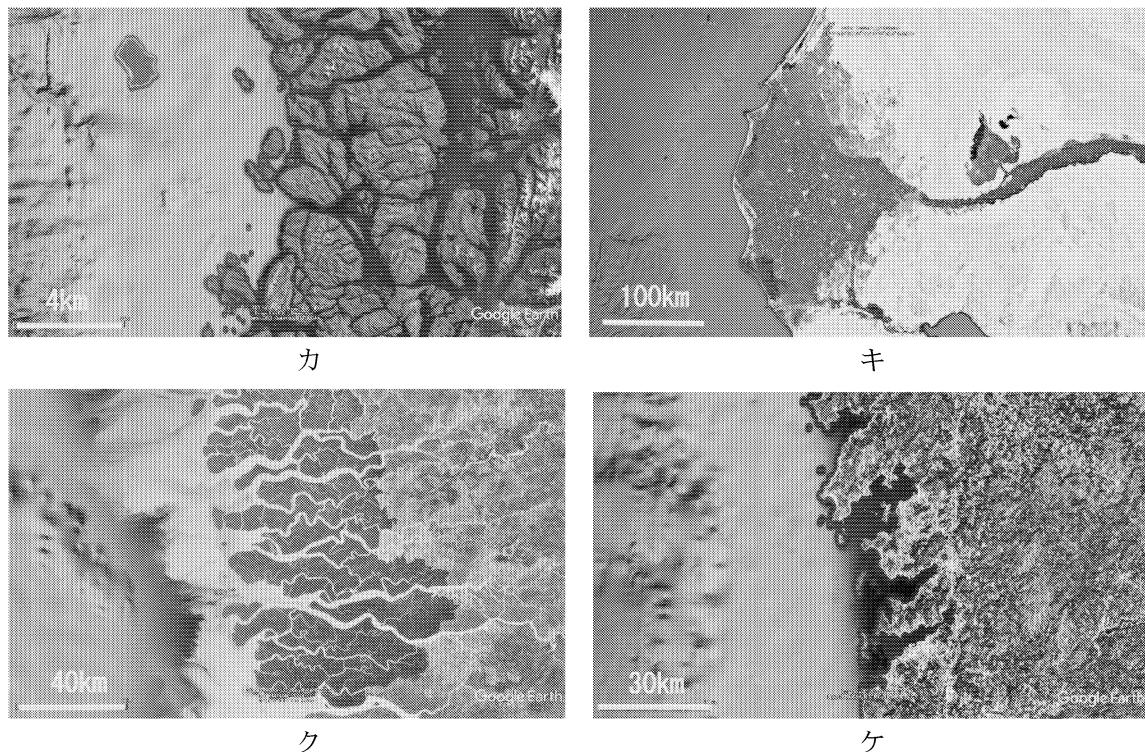
図 1

問1 図1中のA～Eに示した5つの火山のうち、プレートの（ア）広がる境界に関するもの、（イ）狭まる境界に関するもの、（ウ）いずれの境界にも関係しないものを、それぞれ選び、記号で答えよ。ただし各項目の中で複数の解答が含まれる場合には、順番は問わない。

問2 図1中のF～Iで示した湖のうち、その成因が地殻変動であるものを二つ選び、記号で答えよ。ただし順番は問わない。

問3 図1中のJ～L（影部分）は、間帯土壌であるテラロッサ、テラローシャ、レグールのいずれかが分布する主な地域を示したものである。これらの土壌が分布する地域として正しいものを、J～Lからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

問4 次の図2中の力～ヶは、図1中のM～Pのいずれかの場所の海岸付近の衛星画像である。M～Pに該当する画像として正しいものを、力～ヶのうちからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。ただし画像は必ずしも上が北とは限らない。



(出典)『Google Earth』

図2

問5 次の図3は気候帯と植生帯との関係を示したものである。この図中のサ～スに該当する植生帯は、図1中のQ～Sのいずれかの地点でみられるものである。サ～スに該当する植生帯の名称と、これらがみられる地点の記号を、それぞれ一つずつ答えよ。

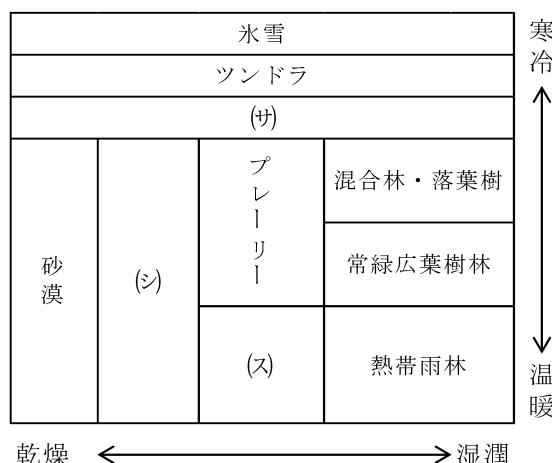


図3

地

2

次の文章を読み、下記の設問に答えよ。

約1万年前に成立した農業は、A世界各地で発生し、伝播の過程で影響を与え合い、地域に独自の農業を生み出してきた。

作物の生育や家畜の飼育には、自然条件が大きく影響する。作物にはB栽培が可能な地理的範囲があり、それを超えると栽培が難しい。ただし、人々は、人工的に水を供給する（ア）や品種の開発などを通して、栽培地域を拡大してきた。また、土地の利用を工夫することで、土壤の消耗を防いだり、狭い土地で多くの作物を収穫するなど、さまざまな方法を考案してきた。

降水量が多いモンスーンアジアでは、根耕農耕文化の上に、（イ）性が高い稻作農業が拡がった。

ヨーロッパでは、地中海農耕文化をもとに、穀物栽培と家畜飼養を組み合わせた農業が発達した。中世に広く行われていた、耕地を3つに分け、それぞれを冬作地・夏作地・休閑地として毎年これを交代させる（ウ）農業を経て、より土地利用度を高めた商業的な混合農業へと発展した。

熱帯では、土地を移動しながら利用して土地の回復を待つ（エ）農業が広く行われてきた。

問1 下線部Aに関して図1は、15世紀までのおもな作物の起源地と伝播の経路を示している。a～dの農耕文化で栽培化された作物を、以下の1～8からそれぞれ二つずつ選び、番号で答えよ。

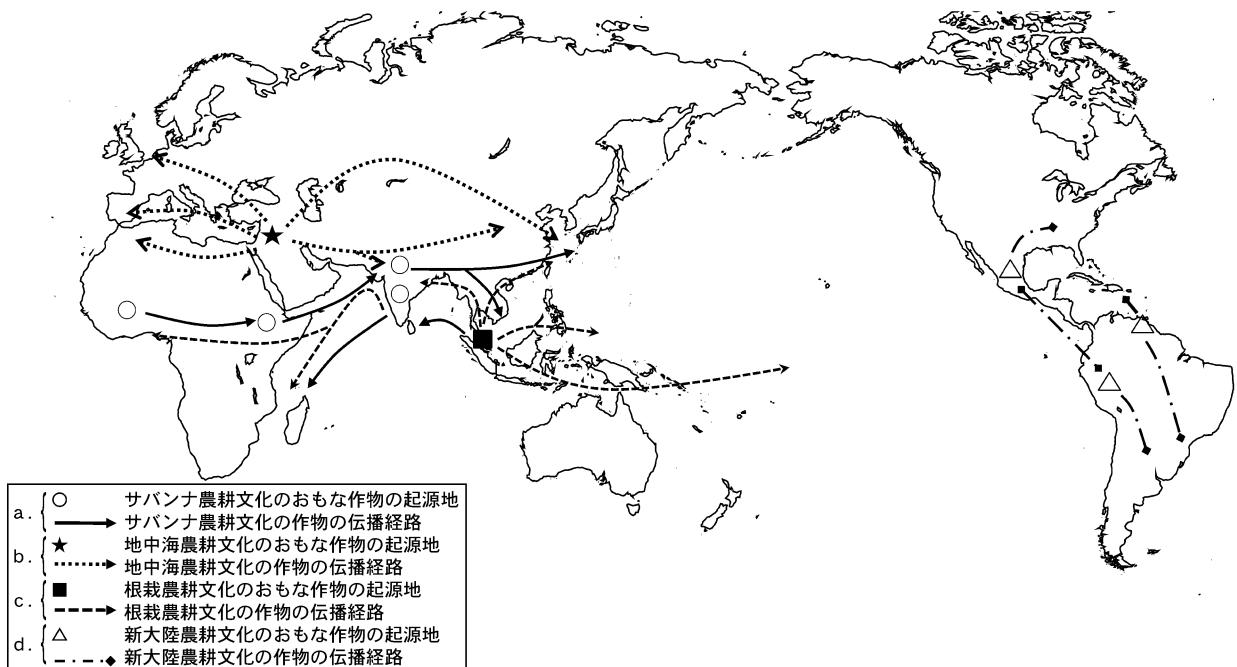


図1 栽培植物の起源地と伝播経路

(出典) 中尾佐助『栽培植物と農耕の起源』(一部改変)

1. コムギ
2. シコクビエ
3. ジャガイモ
4. ヤムイモ
5. トウモロコシ
6. サトウキビ
7. ゴマ
8. エンドウ

地

問2 下線部Bに関して、栽培が可能な境界線の名称を、漢字4文字で答えよ。

問3 (ア)にあてはまる語句を答えよ。

問4 (イ)にあてはまる、単位面積あたりの生産力の大きさを表す語句を、漢字4文字で答えよ。

問5 (ウ)と(エ)にそれぞれあてはまる、土地の利用に関する語句を答えよ。

3

次の文章を読み、下記の設間に答えよ。

人々の社会生活の基盤としての住居の集まりは、一般的に（ア）と呼ばれている。それは「人口が少ない、人口密度や家屋密度が低い、第1次産業従事者が多い」という特徴が見られる（イ）と、「人口が多い、人口密度や家屋密度が高い、第2次・第3次産業従事者が多い」という特徴が見られる（ウ）に分けられる。

（イ）は、家屋が数十・数百連続している（エ）と、家屋が1戸ずつ離れている（オ）に分けられる。（オ）の代表的なものとしては、（カ）制によって計画的につくられた北米のそれが知られている。

日本の（イ）が抱える問題の1つは、人口減少と、それに伴う弊害である。就業機会を求め、都市への移住者が増えた結果、活力が失われた状態、いわゆる（キ）化が一層進んでいる。

開発途上国（イ）では、経済の不安定さが、大きな問題として指摘されてきた。16世紀ごろから植民地へ進出した欧州の農業資本は、現地住民を労働力として雇用することで、^Aサトウキビ、天然ゴム、油ヤシなどを生産する大規模な企業的農業を行った。第二次世界大戦後、支配からの解放に伴い現地経営者へ引き継がれた農業は、自然環境に適した单一作物を大規模に栽培する形態をとるものが多く、それゆえに国際価格の変動に大きく左右される経済的脆弱さを抱えていた。近年では、作物の種類を増やすなどの対応策がとられている。

（ウ）においても、多くの課題が指摘されてきた。日本では、とりわけ東京圏への一極集中が激しくなり、地価が高騰した結果、都心への通勤・通学者が周辺地域へ移転する「人口の（ク）化現象」が生じた。また、（ウ）の近郊では、「都心への通勤者の住宅を中心に発達した周辺の都市」である（ケ）タウンでの高齢化が著しく進んでいることも問題視されている。

開発途上国（ウ）では、露天商や車の清掃といった公的許可・指導を受けない経済活動によって生計を立てる人々が、数多く生活している。河川や鉄道線路沿いなどの地域では、住環境の劣悪な住宅街である（コ）が自然発的に広がることがある。（コ）では、感染症が発生しやすいといった問題があるため、その対応策として、社会生活に必要な公共施設の整備が急がれている。

問1 （ア）にあてはまる語句を、漢字2文字で答えよ。

問2 （イ）および（ウ）にあてはまる語句を、漢字2文字で答えよ。

問3 （エ）および（オ）にあてはまる語句を、漢字2文字で答えよ。

問4 （カ）にあてはまる「18～19世紀に北米で実施された公有地の分割制度」の名称を、カタカナ6文字で答えよ。

問5 （キ）にあてはまる語句を、漢字2文字で答えよ。

問6 下線部 A のような「工業原料に利用するために栽培される作物」は、「(あ) 作物」と呼ばれている。

(あ) にあてはまる語句を、漢字2文字で答えよ。

問7 下線部 B を意味する語句を、カタカナ8文字で答えよ。

問8 下線部 C のような「同一耕地に1種類の農作物だけを広範囲にわたって栽培すること」を表す語句を、カタカナ7文字で答えよ。

問9 (ク) にあてはまる語句を、カタカナ4文字で答えよ。

問10 (ケ) にあてはまる語句を、カタカナ3文字で答えよ。

問11 下線部 D は「(い) セクター」と呼ばれている。(い) にあてはまる語句を、カタカナ7文字で答えよ。

問12 (コ) にあてはまる語句を、カタカナ3文字で答えよ。

問13 下線部 E は、「(う) ストラクチャー」と呼ばれている。(う) にあてはまる語句を、カタカナ4文字で答えよ。

地

4

次の①～③の文章は、東北6県のうちいずれか3県について説明したものである。これらの文章を読み、下記の設問に答えよ。

- ① この県の東側には東北地方の中央部を南北に貫く（ア）山脈がそびえている。県の北西部には、最上川と赤川が形成した沖積平野である（イ）平野がある。ここでは、近世以降、水田化が進み、穀倉地帯となっている。また、この県は果樹栽培もさかんで、（a）や西洋なしの2016年の都道府県別生産量は日本第一位であった。
- ② この県の北西部には（ウ）半島があり、（エ）トンネルで北海道とつながっている。また、北東部には（オ）半島があり、靈場として知られる恐山がある。この県と隣県にまたがる（カ）山地は、世界的なブナの原生林が広がることから、1993年に日本で最初の世界自然遺産として登録された。^A日本で有数の農業生産高をほこり、（b）やにんにくの2016年の都道府県別生産量は日本第一位であった。
- ③ この県の南部の海岸線は、起伏の大きな山地が海面下に沈んでできた（キ）海岸である。そのため、津波被害が多く、（ク）年3月に起きた東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）でも大きな被害を受けた。一方、その地形をいかして、海藻類の養殖も盛んで、2016年の（シ）の都道府県別生産量は日本第一位であった。また、この県は県名と県庁所在地の都市名が異なっており、^B県庁は（ア）山脈と北上高地に挟まれた（ケ）市に置かれている。

問1 文章中の（ア）～（ケ）にあてはまる語句、または数字を答えよ。なお、同じ記号には同じ語句、または数字が入る。

問2 文章中の（a）～（c）にあてはまる語句を、下記の1～6からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

1. のり類 2. わかめ類 3. おうとう 4. 日本なし 5. もも 6. りんご

問3 下線部Aに関して、同年にこの山地とともに世界自然遺産として登録されたのは何県の何という島か、県名と島名を答えよ。

問4 下線部Bに関して、東北6県には「県名と県庁所在地の都市名が異なっている」県が、③の文章が説明する県の他に、もう一つある。その県名と県庁所在地の都市名を答えよ。

問5 上記の①～③の文章が説明している県名を答え、その位置を下記の図1中の1～6からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えよ。

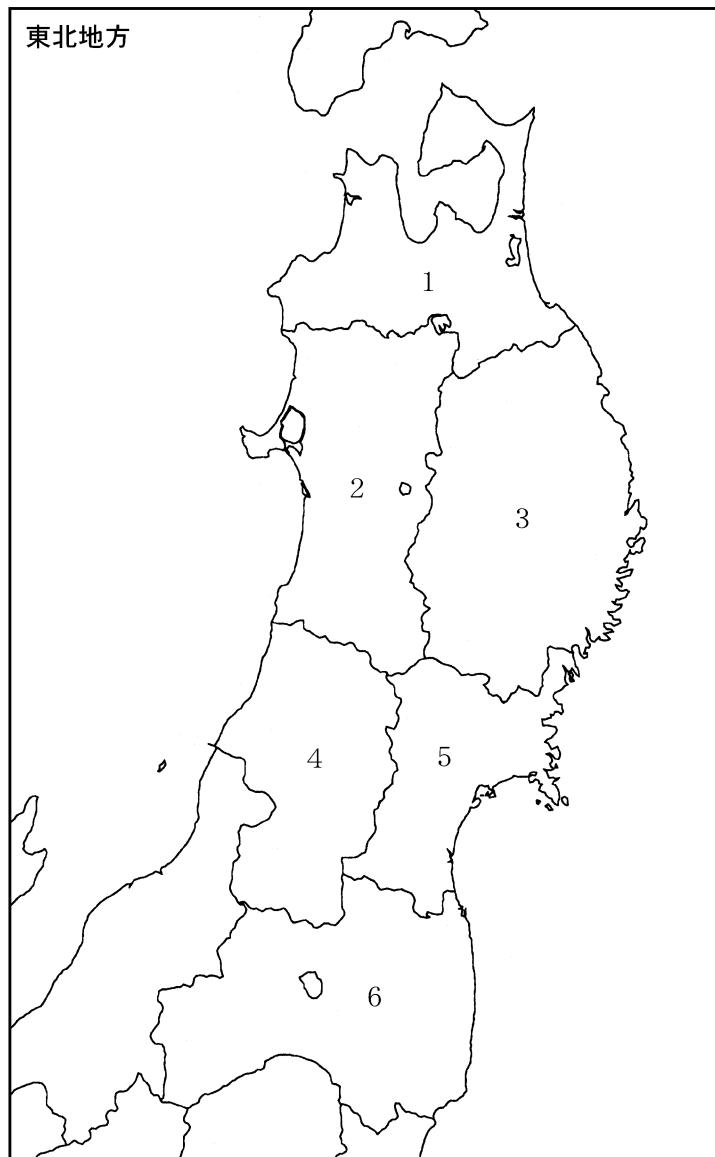


図1